

令和4年度 島根県学力調査結果及び分析（松江市立島根中学校）

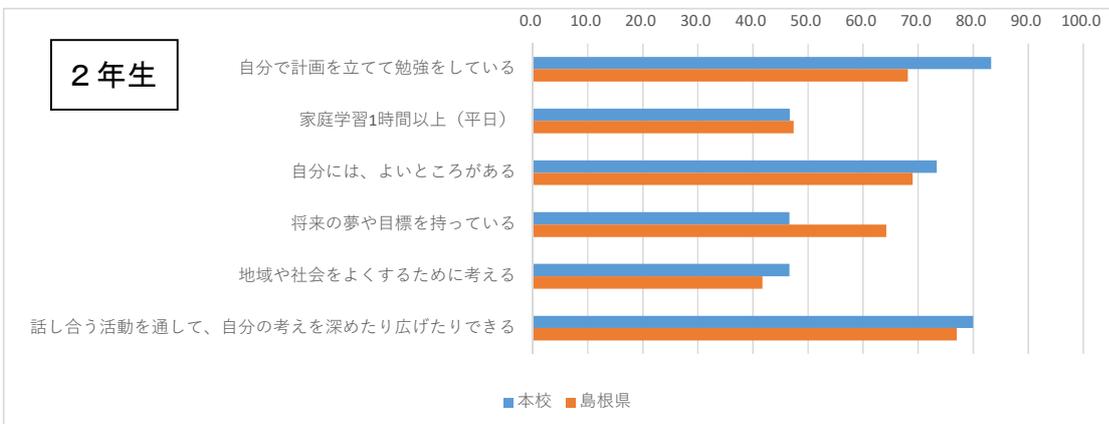
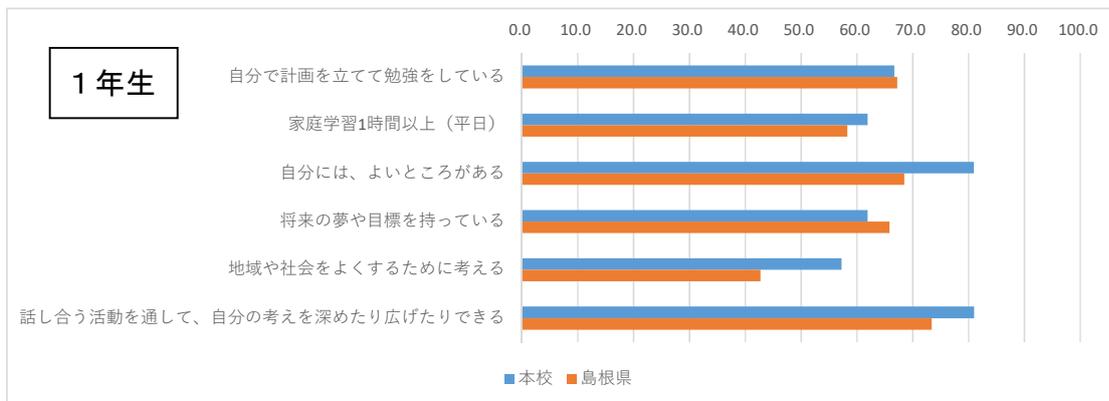
(1)学力調査結果から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

1年国語	○漢字の読み書きが、よくできている。 ●条件に合った文章を書くことができるものの、内容を明確にして書いたり、理解したことに基づいて自分の考えを書いたりすることが苦手である。	2年国語	○漢字の読み書きが、比較的よくできている。 ●条件に合った作文を書くことを苦手としている。 ●文章の構成や、段落の役割について理解している生徒が少ない。
1年数学	○基礎基本の計算力が身に付いている。 ●2学期中旬以降に学習した内容の正答率が高いが、長期的に記憶するために、家庭学習で取り組むことが必要。 ●各領域で、文章から数量や関係性を見だし、数学的に表現することを苦手としている。	2年数学	○文字式、連立方程式、図形の証明において、基本的な問題を解く力が身に付いている。 ●分数を含む文字式の計算を苦手としている。 ●各領域で、根拠をもとにしていくつかの過程が必要な問題を苦手としている。
1年英語	○英文を聞き、適切な絵を選んだり、概要を捉えたりする問題の正答率が高い。 ●基本的な語形、語法が定着していないため、場面や状況に応じて正確に書くことを苦手としている生徒が多い。	2年英語	○「聞くこと」において、日常的な話題の情報を把握したり、対話の内容に適切に応答したりする問題の正答率が高い。 ●場面に応じて正確に書いたり、ある話題についてまとまりのある英文を書いたりすることを苦手としている生徒が多い。

(2)生活意識調査から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

1年	○先生の話をしっかり聞き、授業の内容を理解しようとする意識が高い。 ●家庭での学習習慣が定着しているが、自分で考えて計画を立て、学習することに課題がある。 ●メディア(テレビ、インターネット)の使用時間など、中学生としての基本的な生活習慣の定着に課題がある。	2年	○話し合い活動には積極的に取り組み、お互いの考えや意見を知る良い機会になっている。 ●家庭学習には取り組んでいるが、課題を終えることに終始している。自分の苦手分野に計画的に取り組んでいけるよう、支援していく必要がある。
----	---	----	--

(3)意識調査(教育委員会として注目している項目のうち、全国学力・学習状況調査と同様の質問項目を挙げています)



【受検者数】 1年生 23名 2年生 15名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。